

1

子どもたちが平等に学べる教育環境をつくるために

普通学級の中に様々な問題を抱え、特別な支援を必要とした子どもたちが以前よりも増えてきました。課題が多いコロナ禍において、より手厚い支援が必要です。



現在配置されている職員（小中学校籍）の状況（2020年）

困り感や悩みをもった子どもたち（不登校、虐待等）

スクールカウンセラー 93人

スクールソーシャルワーカー 26人

家庭訪問支援員 12人

外国につながる子どもたち

日本語指導者 9人

発達障害等

通級指導担当者 74人

特別支援非常勤講師 49人

現在の職員配置数では、まだまだ不十分です



県の予算で 人員配置増を

すべての子どもたちが安全・安心に学べるように

2021年度

福井の教育をよくするための教育条件整備を求める請願

これからの世の中は、変化の激しい時代になることが予想されます。コロナ禍で起こっているような難しい課題を解決するためにも、家庭・地域・学校が手を取り合い、社会全体で助け合うことが大切です。福井の未来を担う子どもたちのために、みんなの力を結集しましょう！

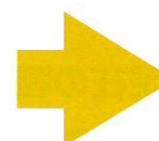


● Web での署名も可能です。



【スマホの場合】

こちらの QR コードにアクセスしてください。



【パソコンの場合】

「福井県教職員組合」で検索。

アイコン「教育請願署名運動」をクリック。※一度に5名分の入力が可能です。

福井の教育をよくするための県民連合

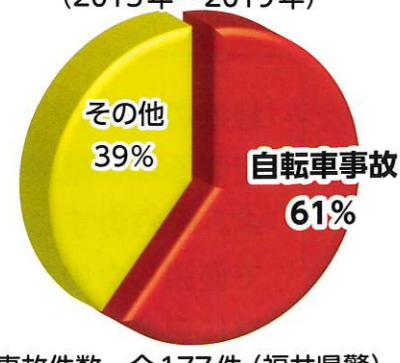
福井県PTA連合会・(公財)青少年育成福井県民会議・(一社)福井県子ども会育成連合会

連合福井・福井県退職教職員会・福井県教職員組合

2 子どもたちを自転車事故から守るために

*子どものヘルメットの着用義務化

県内小中学生の交通事故状況
(2015年～2019年)



事故件数 全177件(福井県警)



自転車事故による死者
約6割が頭部に致命傷

子どもたちの命を守るために！

2013年鯖江市の児童が自転車乗車中に事故に遭い、尊い命が失われました。ヘルメットを着用していれば…と関係者は悔やんでも悔やみきれません。児童の死を無駄にしないようにと、2017年鯖江市PTA連合会は「ヘルメット着用義務化宣言」を採択しました。

県内、そして次世代につながっていくことを願って、子どものヘルメット着用の義務化を！

*高額賠償を保障するための自転車保険の加入義務化

子どもであっても責任は大きい！

男子小学生（11歳）が夜間、自転車で走行中、歩行中の女性（62歳）と正面衝突。女性は頭蓋骨骨折等の傷害を負い、意識が戻らない状態となりました。裁判所は、保護者に監督責任を求め、約9,500万円の賠償を命じました。（2013年判決 神戸地方裁判所）



加害者の保護者に
大きな経済的負担

加入を義務、努力義務とする自治体が増加
近隣では、石川県金沢市、富山県、滋賀県など

自転車条例の制定を

3 地域における社会教育を推進するために

社会性が身についていないことが、いじめや人間関係のトラブル、不登校など、さまざまな形で現れているわね。

地域のつながりが薄れてきて、地域で子どもを育てていくことも難しくなっているな。



子どもが少なくなっているだけでなく、地域の社会教育関係の団体は担い手の高齢化、なり手不足も課題らしいわね。

学校以外の場所で子どもたちを育てる場所や機会が失われてきています

地域の行事が、自分を変えるよい機会になるよ。町内のすもう大会で優勝したのをきっかけに自信がついて、勉強にも前向きに取り組むようになった子もいる。

ひとむかし前は、地域や家庭、そしてあそびの中でも、自然と社会性を身に付けていたな。

今こそ 学校や地域の諸団体が
つながり合うことが大切

団体同士のネットワーク化・活動のコーディネートを行う専門人材（*社会教育士、地域団体のリーダー等）の育成を

*社会教育士…学校教育以外の場における社会教育活動に対して、指導助言が行える者。2020年より資格取得講習開始。